



6年生の『喫煙防止教室!』の学習

9月18日(木)3時間目、6年生が「喫煙防止教室」を行いました。ゲストティーチャーとして、徳島大学の奥田先生と大学生4名の方をお招きしました。

奥田先生からは、「川島小学校でたばこの学習をして健康になろう」というお話をいただきました。また、最後に校長先生が大学生のみなさんに出前授業をしての感想を聞いてみました。大学生の4人のみなさんから「6年生のみんながよく話を聞いてくれて、発表もたくさんしてくれたので楽しく授業ができました。すごく楽しかったです。」という感想をいただきました。

今回の「喫煙防止教室」の奥田先生からのお話を少し紹介します。詳しい内容については、6年生のみなさんに聞いてください。

- ①「たばこは、人の健康にどのような影響を及ぼすのかについて。」
- ②「たばこを吸うと、いろいろな病気になることがあるということ。」
(例えば、のど、歯、歯ぐき、手や足、皮膚など)
- ③「たばこには、体に良くないもの(有害物質)が含まれていること。」
- ④「ニコチンは、体の血管を縮ませて、血液を流れにくくすること。」
- ⑤「ニコチン以外にも、体に良くない物(有害物質)がたまって、肺が汚れること。」
- ⑥「たばこをすうと、ニコチン、一酸化炭素、タールなどの体に良くない物(有害物質)によって、病気になったり、成長がおくれたり、運動や勉強、仕事の能率がさがることがあること。」
- ⑦「自分がたばこを吸わなくても、たばこを吸う人のたばこの煙を吸ってしまうことで、健康に良くないことがあること。」

「喫煙防止教室」の最後に、奥田先生から川島小学校の子どもたちへ次のようなメッセージがありました。

☆おとなになっても絶対にたばこを吸わないでほしい。
 ☆たばこを吸っている人が近くにいたら、はなれるようにする。
 ☆もし、たばこをすすめられたら、きっぱりことわってほしい。

【6年生の喫煙防止教室の様子を紹介します。】

